

名桜大学 人間健康学部 看護学科ニュースレター No.41

ちゅら風 通信(夏号)

CHURA KAZE NEWSLETTER



CONTENTS

- 1年次活動報告_3
- 2年次活動報告_4
- 3年次活動報告_5
- 4年次活動報告_6
- 国試便り_7
- 学生参画型研修会の報告_2

学生の声を教育改善へ ― 学生参画型FD研修会を実施しました

宮里 優人(小児看護学領域)

令和8年7月29日、「学生参画型の教育改善」をテーマとしたFD研修会が開催されました。今回の研修は、これまでアンケートなどを通して共有されることの多かった学生の声、教員との直接的な対話を通して教育改善につなげることを目的としたものです。

研修では、学生1名を4～5名の教員が囲むグループをつくり、「教育課程」「学習環境」「地域連携・国際交流・留学など」をテーマに意見交換を行いました。看護学科では6つのグループに分かれ、学生が普段の大学生活の中で感じていることを率直に語り、教員はその声に耳を傾けました。各グループで出された意見は付箋に書き出し、最後に模造紙上で整理することで、看護学科全体としての課題や改善に向けた視点を可視化しました。

学生からは、看護学科で大切にしている「気づいたらレスポンス」という姿勢について、「学生だけでなく教員も意識してほしい」という意見がありました。また、教育課程については、特に3年次に課題が集中し、学修上の負担が大きくなっていることが挙げられました。学習環境についても、図書館や演習室、ネットワーク環境、駐車場、トイレ、食堂の利用など、日々大学で過ごしている学生だからこそ気づく具体的な意見が数多く寄せられました。

今回の研修を通して、学生と教員が直接対話することで、アンケートだけでは捉えにくい学生の思いや学修上の困りごとを共有することができました。学生から寄せられた一つひとつの声を、今後の授業や教育課程、学習環境の改善につなげていくとともに、学生と教員がともによりよい看護学科をつくっていくことの大切さを改めて考える機会となりました。



令和8年度 1年次活動報告

編集者：赤嶺 和奏 安里 紅星 前田 美璃 根保 陽向

【新入生教育研修会】

これまでの生活を通して、大学での目標を共有・発表を行うカードメソッドやゼミ対抗でバレーボールなどのゼミ活動を通して、ゼミの親睦を深めました。また、二年生の先輩方との交流を通して、交流を深めることもできました。



【教養演習I】



教養演習では、大学での学び方を学ぶとともに、やんばるフィールドワーク調査、ポスター制作、全学発表を行いやんばる地域における魅力や課題を学ぶことができました。また、教養演習Iを通して、ゼミの仲間や先輩、教職員との交流を深めることや積極的に意見を伝える力を身につけることができました。



【ケアリング文化実習I】

ケアリング文化実習Iでは、ゼミごとに担当地区についての学習や戦跡巡り、愛楽園交流会館見学を行いました。ケアリング文化実習を通して、地域のことや沖縄戦、ハンセン病について学んだことで、まずは何事も「知る」ことが大切だと分かりました。また、現地へ足を運ぶからこそ得られる学びがあると実感しました。



—ゼミ紹介—



1A
一人ひとりの長所を生かして仲良く頑張ります。



1B
一人ひとりの個性が光る明るいゼミです。後期は計画的に頑張ります！



1C
1Cみんなで目指せ立派な看護C〜！



1D
なかよしゆんたく代表ゼミです。



2A
明るく元気で仲の良いゼミです。



2B
お互いが補い合って協力し計画的に行動できるよう頑張ります！



2C
全力で楽しみ、全力で学ぶ！一緒に笑って、一緒に成長していきます！



2D
それぞれが自分らしく、協力し合いながら楽しく活動していきます！



3A
学ぶときは真剣に、楽しむときは思いきり楽しめる、居心地の良いゼミです。



3B
カオスで真面目の愉快な仲間たち★個性爆発3Bゼミです！



3C
一人ひとりがゼミに貢献できるよう、助け合いながら頑張ります！



3D
誰一人欠けることなく、7人で力を合わせて頑張ります！



令和8年度 2年次活動報告

編集者：新垣 優衣 與古田 美音



【新入生研修会】

4月6日から4月10日にかけて、新1年生に向けた新入生研修会が行われました。研修では、2年生がサポーターとして各ゼミに2～3人入り、Wi-Fiの接続方法、履修登録の手助け、大学案内など新入生のサポートを行いました。その中で、受験のことや大学生活のこと、一人暮らしのことなど、様々な話をし、親睦を深めることにつながりました。4月18日には新入生歓迎レクでバレーボールも行い、大いに盛り上がりしました。私たちも、昨年先輩方から色々学んだことを、後輩たちに伝えることができ、自分たちも成長できました。



【学年レク】



7月24日に21世紀の森で学年レクが行われました。レクではなぞなぞやNGワードゲームなどが行われ、ランダムでメンバーが変わり、普段関わることの少ない人とも話すきっかけになりました。また、BBQを行い、学年みんなで楽しみながら、おいしくお肉や焼きそば、ウインナーなどを食べました。学年レクは、学年全体で企画し、それぞれの役割を決めて、全員が役割を全うすることができ、スムーズにレクが進行しました。いろんな人と話すきっかけにもなり、BBQやゲームを楽しく行うことができたので、学年全体の仲を深める学年レクになりました。

【基礎看護実習】

8月24日から9月4日にかけて、基礎看護実習が行われました。実習先は、北部地域だけでなく中部地区にも割り当てられており、さまざまな病院で実習が行われました。病院によって、呼吸器、循環器内科、消化器、整形外科、回復期リハビリテーションなど様々な病棟で実習があり、受け持ち患者さんに応じたアセスメントを行えるよう取り組みました。初めての实習だったということもあり、難しい事や大変なこともたくさんありましたが、それ以上に、看護師の役割や多職種との連携の重要性について学ぶことができました。また、患者さんを2週間受け持ち、日々の心身の変化を観察・測定することで、ADLの向上や、できるようになったことを間近で見ることができたので、とても良い学びになりました。3年次の後期には領域別実習が始まるので、今回、基礎看護実習で学んだことを最大限に発揮できるよう、これからも勉強や実技を頑張っていこうと思います。



令和8年度 3年次活動報告

記事：仲宗根 叶杏 西山 莉央 松田 琉政

【ケアリング文化実習Ⅳ】

2026年度前期に「ケアリング文化実習Ⅳ」を行い、本実習では各ゼミ担当区域をフィールドに、地域の方々との交流や健康活動を通して、地域で暮らす人々の生活や健康課題について理解を深めました。地域の健康課題を踏まえ、高齢者の身体機能や認知機能の維持・向上と、地域住民同士の交流を目的とした健康活動を企画し、実施することができました。活動後には温かい言葉をいただき、健康づくりには身体を動かすことだけでなく、人との交流や楽しい時間を持つことも大切であると実感しました。

さらに、7月15日にはケアリング文化実習Ⅳ発表会を開催し、各グループが活動を通して得た学びを発表し、地域住民にとって「居心地の良い場所」とは何かについて考えを深めました。今回のケアリング文化実習Ⅳを通して、学生たちは「ケアリング」とは、身体的な援助を行うだけでなく、一人ひとりの価値観やその人らしさを尊重し、人と人とのつながりを大切にしながら、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう支援することであると学びました。地域の方々との交流を通して得た学びを、今後の看護実践につなげていけるよう取り組んでいきたいです！



【高齢看護方法論「アクティビティケア発表会」】

2026年7月23日、看護学科においてアクティビティケア発表会が開催されました。当日は、名護市内の老人クラブの皆様をお招きし、学生が対象者の心身の状態や楽しみなどを考慮して計画したアクティビティケアを実施しました。学生たちは、参加者の皆様と交流を深めながら、楽しんで活動に参加していただけるよう、声かけや安全面にも配慮しながら取り組みました。チーム対抗のゲームでは、熱い戦いが繰り広げられ、会場が一体となって盛り上がり、とても楽しい思い出となりました♪ 今回の貴重な経験を、今後の実習で活かしていきたいです！！



【グローバル研修Ⅱ】 海外研修 担当：久高 花

○参加者 学生19名(女子14名、男子5名)、教員2人

○目的

低・中所得国の農村部における人々の暮らしの中にある医療や看護について、事前学習を通して学び、基礎的なコミュニケーション(言語)についても学修する。現場の体験を通して多様性を理解するとともに、日本との制度の違いや、交流した人々の持つ背景から医療や看護のあり方、自身のキャリア形成についても考察を深める。

○スケジュール

Day1 那覇空港→桃園空港→スワンナプーム国際空港

Day2 スワンナプーム国際空港→ウボンラチャターニ空港・サンパシット看護学校見学

Day3 ケマラート郡へ移動・ホームステイ・夕食作り体験

Day4 行政区健康促進病院訪問・家庭訪問・HSF (Health and Share Foundation) と夕食パーティ

Day5 ケマラート病院訪問・HIV陽性者/LGBTsグループとのアクティビティ

Day6 ウボンラチャターニ空港→スワンナプーム国際空港・サミティベート病院訪問・アジアティークで買い物&夕食

Day7 スワンナプーム国際空港→桃園空港→那覇空港

○印象に残ったこと

・ホストファミリーとの交流を通して、言語が十分に通じない場面もありましたが、笑顔やジェスチャーなどの非言語的コミュニケーションによって心を通わせることができたと実感しました！

・タイの人々のおもてなし精神が強く印象に残りました。タイの看護学校の学生との交流やホームステイでは、言語が十分に通じない場面もあったが、相手を思いやる気持ちや歓迎する姿勢が強く伝わりました！



3学年レク

2026年8月10日、3年次において学年レクが開催されました。当日は、フットボール・ドッジボール・バレーボールなど様々なスポーツを行いました🏆 学生たちは、チームで声を掛け合いながら、暑さにも負けず思いっきり体を動かし、みんなで楽しい夏の思い出をつくることができました！





令和8年度 4年次活動報告

作成:森田 凜 勢理客 瑠華 清川 颯斗 熊田 理菜 稲垣 圭穂



国試委員会

目指せ「17期生 全員合格」！高いモチベーションを維持する工夫が満載！

4年次では、国家試験合格に向けて「国試対策委員会」を中心に、学年一丸となって勉強に取り組んでいます。毎週木曜日の1限目に実施する勉強会では、国試委員が作成した小テストを活用し、卒論ゼミごとの少人数チームでお互いに教え合う「TBL (Team-Based Learning)」を取り入れています。仲間と議論しながら解くことで、確実な知識が身につきます。また、日々の学習習慣を維持するため、国試委員が発行する「国試便り」や、Instagramでの「日々の1問1答」の配信など、隙間時間にも毎日楽しく勉強に触れられる工夫を行っています。さらに、定期的に行う模擬試験では、日程調整から結果の詳細なデータ分析までを行い、学年の傾向や課題を明確にしながら効率的な学習を進めています。

4年次は授業が減り登校頻度が落ちやすい時期ですが、「毎週学校に来て仲間と勉強すること」が、継続した学習とモチベーション維持につながっています。今年の目標は「17期生 看護師・保健師国家試験合格率 100%」です！全員合格を目指して、これからも仲間と励まし合いながら頑張ります。

★学生の意見

自分一人の勉強では疑問に思わなかった部分も、チームで共有することで『ここも大切なんだ！』と新たな気づきを得られます。



卒業研究



基礎看護：溝口ゼミ

昨年度末から始まった卒業研究は、基礎医学、基礎看護、成人、小児、母性、高齢・在宅、精神、総合看護、地域の9つの領域に分かれ、卒業研究ゼミの中で、それぞれが関心のあるテーマについて、アンケートやインタビューを用いた調査研究や、論文を調べながら学びを深める文献レビューに取り組んでいます。このプロセスを通して身に着ける「自ら問いを立て、根拠に基づき論じる姿勢」は卒業後の臨床においても大きな糧となります。これまでの看護の学びの集大成となる11月の卒業研究発表会に向け、学生一丸となって最後まで取り組んでいきます。

公衆衛生看護実習Ⅰ・Ⅱ

保健師課程として、保健所と市町村役場で計4週間、実習を行ってきました！

保健所実習では、感染症の罹患者数を把握するまでの流れや病院・市町村役場の保健師との連携などを学びました。保健所は、地域住民が安心して生活できる環境づくりの役割を担うことを実感しました。市町村役場での実習は、北部だけでなく中南部や離島の役場でも行われました。一人ずつ個別事例を受け持ったり、地域で行われている事業に参加したりと、実際に「地域をみる」ことで公衆衛生について学ぶことができました。

授業では学べない保健師の実際を体験し、保健師への興味が高まった実習となりました！



健康教育の実施



離乳食実習への参加

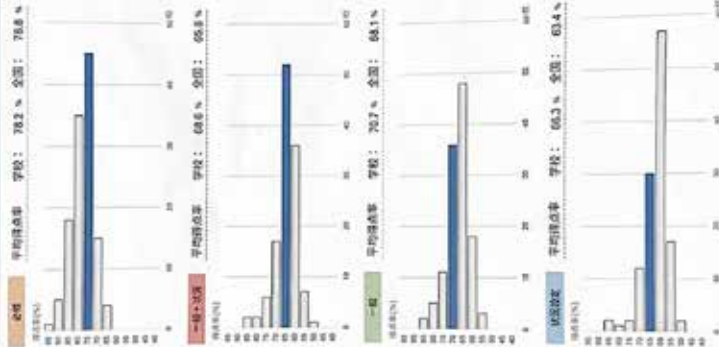
国試便り

第4号

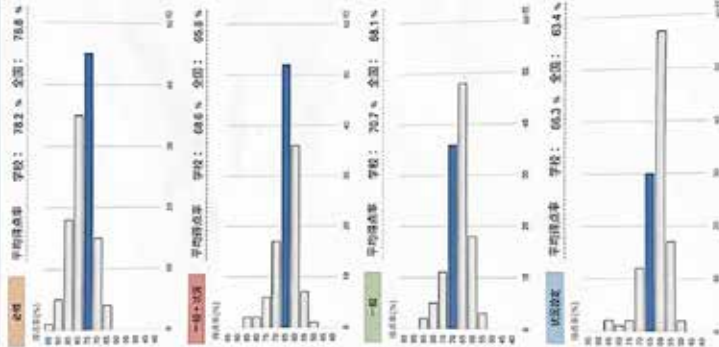
2023/5/1
編集・広報係（国試対策委員会）

第1116回向けプレテスト 第1回（基礎編） 午後問題

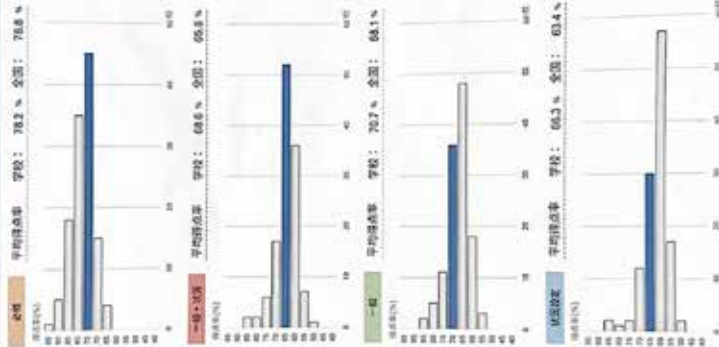
科目別学校平均得点率グラフ



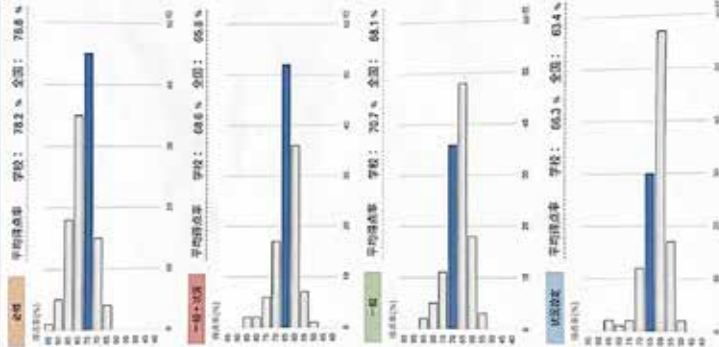
【一般】



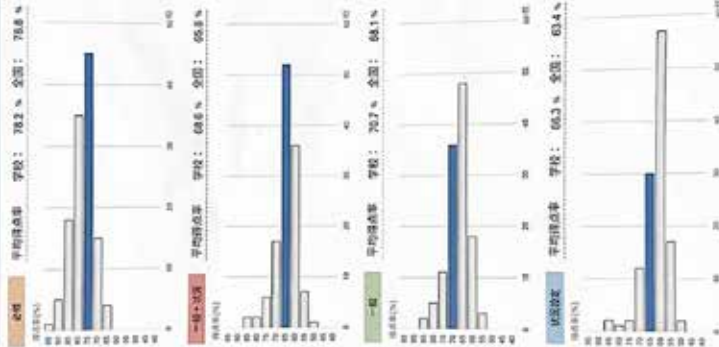
【状況設定】



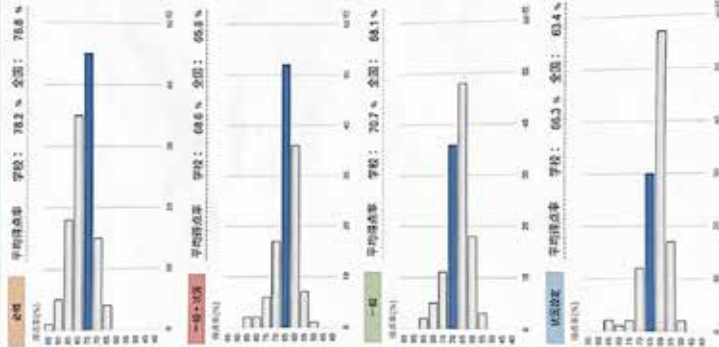
【状況設定】



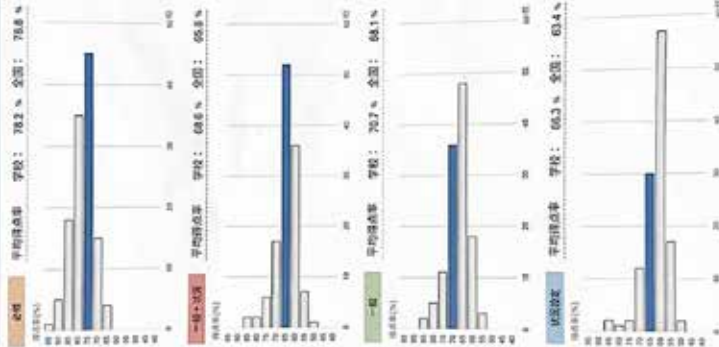
【状況設定】



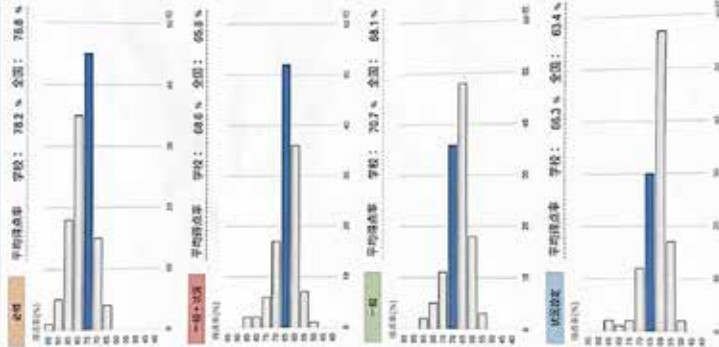
【状況設定】



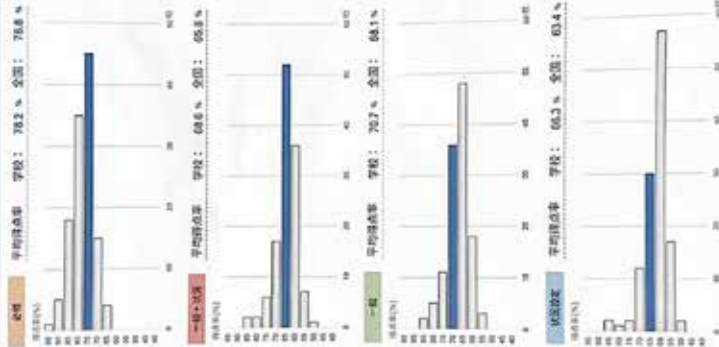
【状況設定】



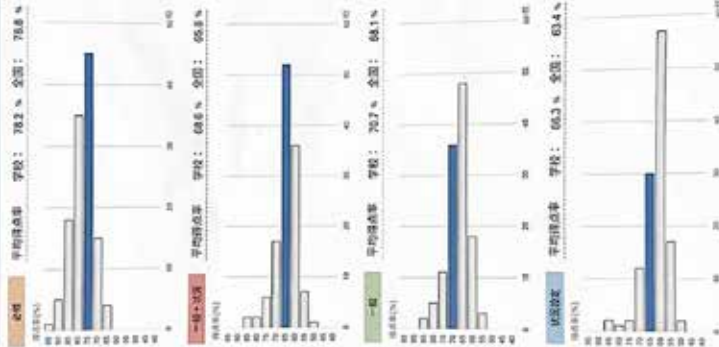
【状況設定】



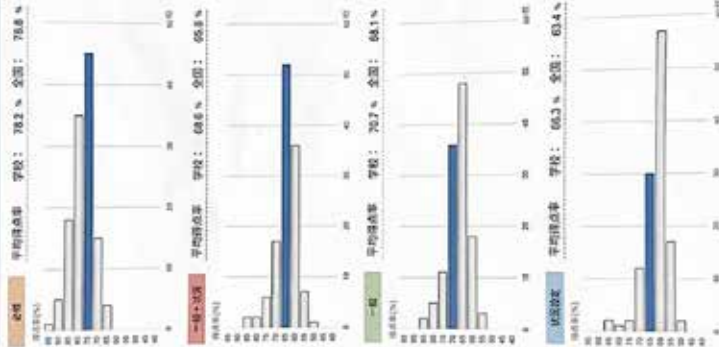
【状況設定】



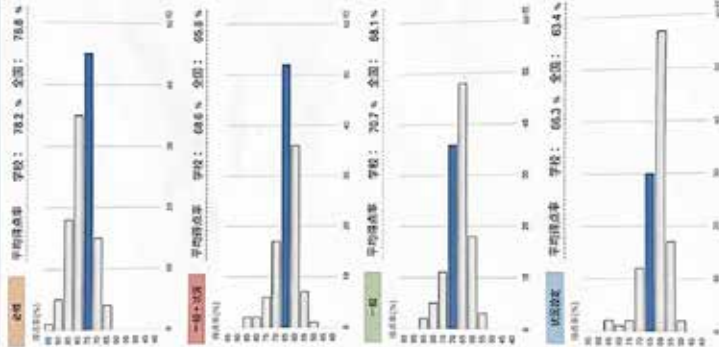
【状況設定】



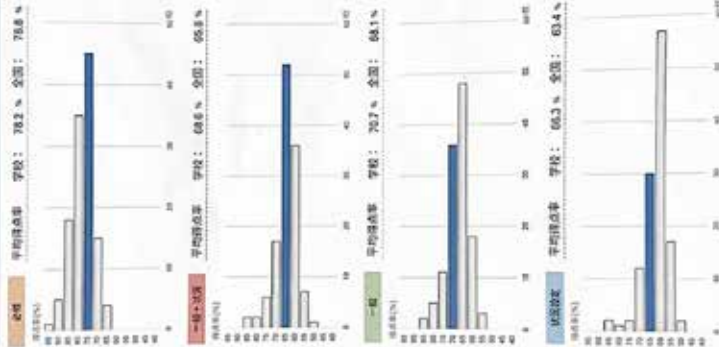
【状況設定】



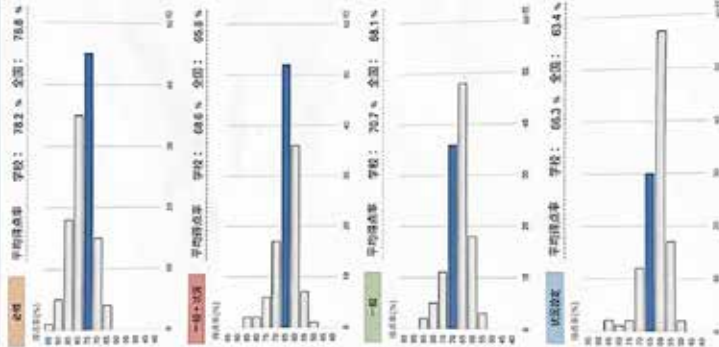
【状況設定】



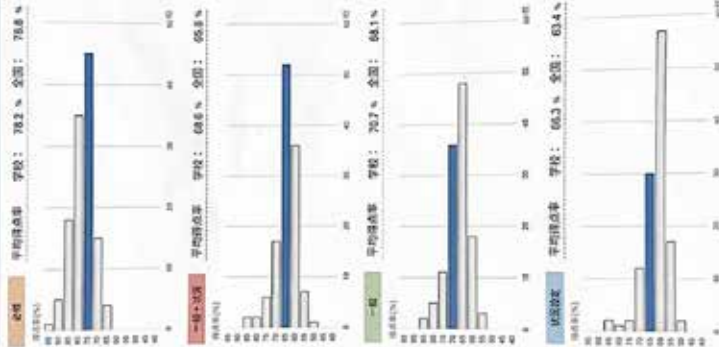
【状況設定】



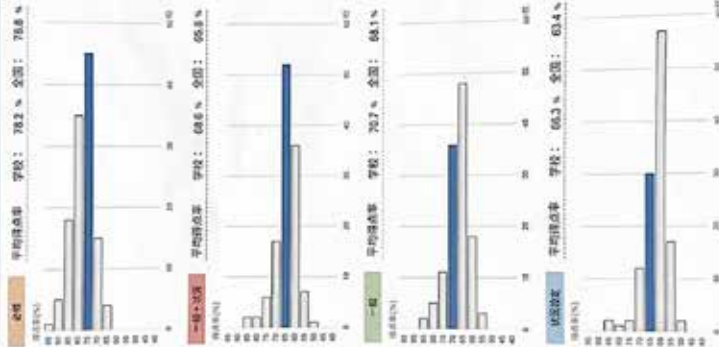
【状況設定】



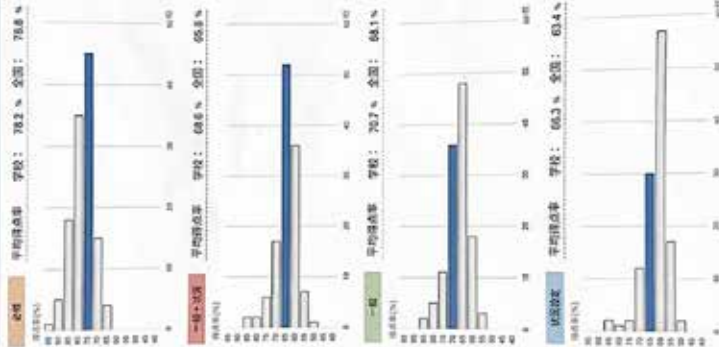
【状況設定】



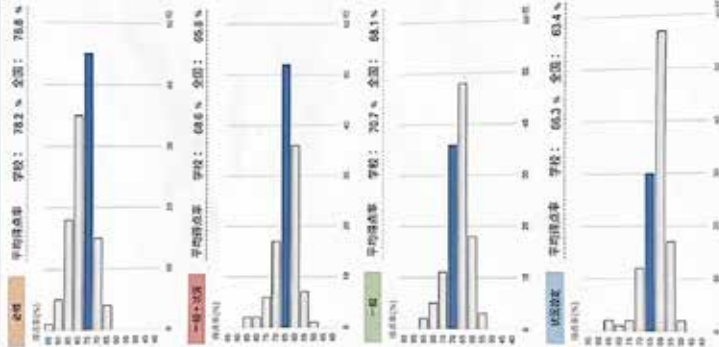
【状況設定】



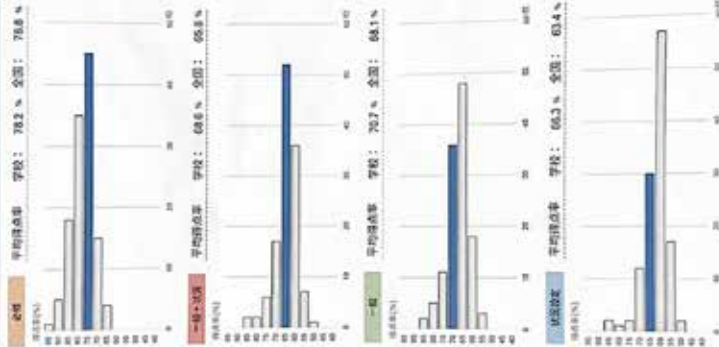
【状況設定】



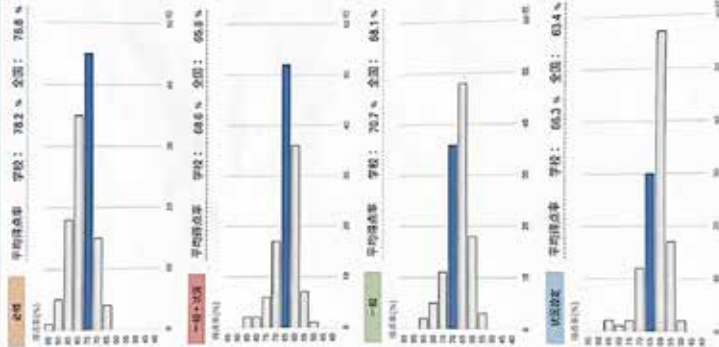
【状況設定】



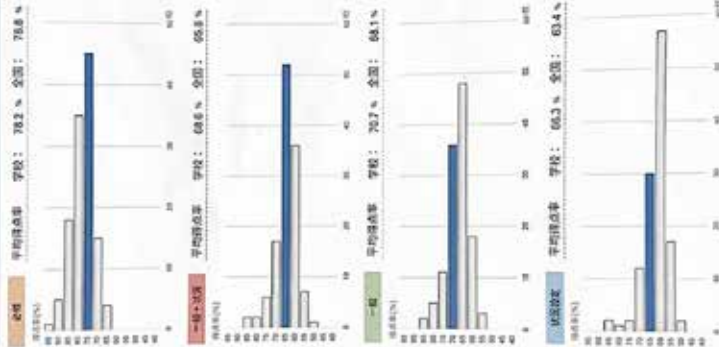
【状況設定】



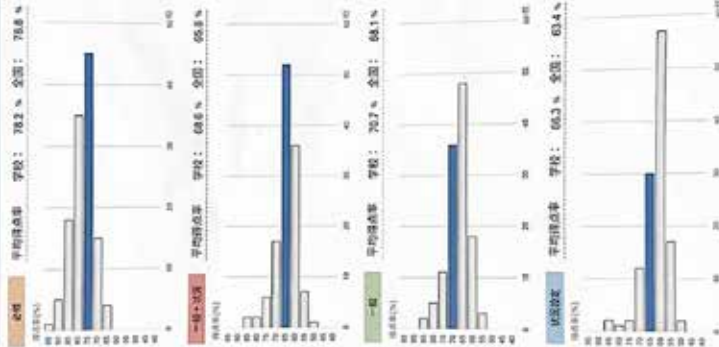
【状況設定】



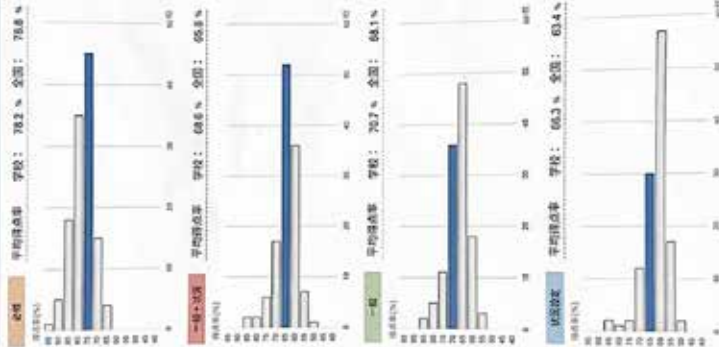
【状況設定】



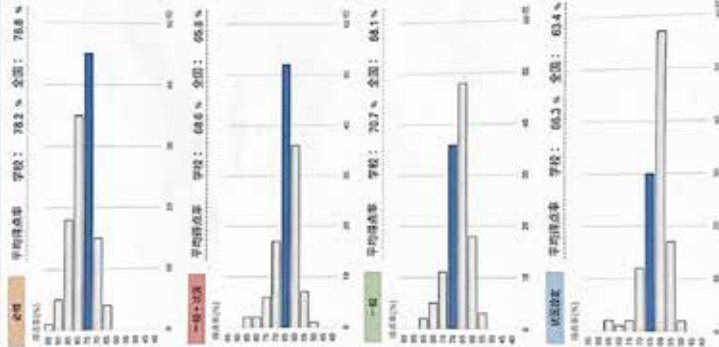
【状況設定】



【状況設定】



【状況設定】



MEIO UNIVERSITY

CHURA KAZE NEWSLETTER

まぶしい季節、看護の力を育てる

「夏」、青空が広がり、まぶしい陽射しが降り注ぐ季節。

新しい学びも、ひとつずつ確かな力へと変り教室で学ぶ知識、実習で重ねる経験。

汗を流し、悩み、迷いながら過ごす一日一日が、“誰かを支える力”を育てていきます。

夏の風を感じながら、仲間と励まし合い、ときには立ち止まりながらも、一步ずつ前へ。

人の痛みに寄り添う心も、日々の学びの中で少しずつ育っていきます。

強い陽射しの下で積み重ねた経験は、やがて大きな自信となり、誰かの明日を照らす力になる。

この夏の一步一步が、未来の看護へとつながっていく。

私たちは今日も、未来の看護を育てています。



公立大学法人

名桜大学
MEIO UNIVERSITY